

# 2019 年度日本建築学会大会（北陸） 建築デザイン発表会発表梗概

## 応 募 要 領

会場：金沢工業大学

期日：2019 年 9 月 3 日（火）～6 日（金）

第 12 回を迎える「建築デザイン発表会」は、2019 年 9 月 3 日（火）から 6 日（金）まで 2019 年度大会（北陸）・金沢工業大学扇が丘キャンパス（石川県野々市市扇が丘）において開催いたします。

この建築デザイン発表会は、会員が設計・計画した建築デザインを発表・議論する場を大会のなかに設けて設計系会員の学会活動への参画を促し、設計系の実務者、教員、大学院生等に建築デザインの評価の機会を提供するとともに、実務・大学院等における設計教育、ひいては設計の質の向上に資することを目的としています。

ここでいう建築デザインとは、設計の論理性、工学的・技術的裏付け、実現した効率性・経済性の根拠等が明確なデザインをいいます。発表にあたっては、以上の主旨がよく伝わるよう表現してください。

2019 年度大会で発表する建築デザイン発表梗概を下記の要領で募集いたしますので、ふるってご応募ください。発表の方法は、発表用ポスターを掲示し、PC 用プロジェクターを使って講演発表を行います。詳細は後日「大会プログラム」および本会ホームページで公表いたします。

なお、下記事項に十分ご留意のうえご応募ください。

- 1) 講演発表は正会員（個人）・準会員・名誉会員に限ります。
- 2) 建築デザイン発表会および学術講演会において、それぞれ 1 題（計 2 題）の講演発表が可能です。応募規程「3. 発表者の権利・義務」「9. 発表登録費」をご覧ください。
- 3) 講演発表者もしくは共同発表者に 2018 年度会費未納者、2007 年度以降の大会発表登録費未納者、2018 年度論文予約購読費未納者がいる場合は応募できません。
- 4) 講演発表者ならびに共同発表者は、発表登録費（表-1 参照）を納入しなければなりません（請求書を 6 月中旬ごろお送りします）。ただし、論文予約会員、名誉会員は、発表登録費を免除します。
- 5) 大会に参加する場合は発表登録費とは別に大会参加費が必要になります。
- 6) 代理の講演発表は認められていません。ただし、建築デザイン発表会、学術講演会の両方に投稿し、かつ相互の発表時間帯が重なった場合（半日単位）には、学術講演会の講演発表を行うこととし、当該の建築デザイン発表に限って共同発表者による代理の講演発表を認めます。
- 7) 建築デザイン発表会は、公開の場で発表しそれが議論されることを目的としていますので、必ず大会に参加し、講演発表を行ってください。
- 8) 応募締切：2019 年 4 月 5 日（金）17 時は厳守です。学術講演の締切と異なりますので注意してください。
- 9) 締切後の原稿の訂正は一切認められていません。
- 10) 原稿執筆要領に示されている基準を大きく逸脱した原稿は不採択の対象となります。
- 11) 新入会の方は、応募時までに必ず入会手続きを済ませてください。学術講演会の「応募上の注意」を参照してください。
- 12) テーマ部門では、各発表終了後に全体ディスカッションを行い、招待講評者が優秀発表を顕彰します。テーマ部門の発表者は、当該セッションの最後まで参加してください。
- 13) 大会第 2 日目（9 月 4 日（水））に発表者（共同発表者含む）による懇親会を予定しております。
- 14) 本文の言語は、日本語のほか英語での投稿も受け付けます。2015 年度より英文専用の投稿サイトを設けましたので、ふるってご応募ください。
- 15) 2019 年度大会実行委員会では自治体への補助金申請を予定しております。発表者の氏名および在住の都道府県情報（市区町村以下は含まず）を利用させていただきますので、ご理解ご協力を賜りますようお願い申し上げます。なお、利用についての諾否は電子投稿の画面で確認いたします。

電子投稿の大会コードは半角小文字で kanazawa です。

## 応募規程

### 1. 対象

- a. 本会会員の設計・計画した建築デザイン（国外に立地するものを含む）とし、実施作品、計画案、大学、高等専門学校および専門学校の卒業設計、大学院の設計課題等を含む。
- b. 建築物の意匠設計ばかりではなく、構造、環境工学・設備、材料等の技術分野の設計、構工法・設計システム等にかかわる設計、まちづくり・景観・団地・広場などの都市・地域デザインや造園の設計、保存・修復・復元等の設計、インテリア・家具・ディテールのデザイン、その他建築にかかわる設計を幅広く含む。

### 2. 応募・発表資格 発表者（講演発表者および共同発表者）の資格は次による。

#### 2.1 講演発表者（〇印）

- a. 正会員（個人）・準会員・名誉会員であって、発表登録費（表-1 参照）を期限までに納入した者。ただし論文予約会員の発表登録費は免除する。
- b. 2018 年度会費未納者、2007 年度以降の大会発表登録費未納者、2018 年度論文予約購読費未納者は応募できない。

#### 2.2 共同発表者（連名者）

- a. 正会員（個人）・準会員・名誉会員であって、発表登録費（表-1 参照）を期限までに納入した者。ただし論文予約会員の発表登録費は免除する。
- b. 2018 年度会費未納者、2007 年度以降の大会発表登録費未納者、2018 年度論文予約購読費未納者は応募できない。
- c. 会員外であって、発表登録費を期限までに納入した者。

### 3. 発表者の権利・義務 発表者の権利、義務は次のとおり。

- a. 講演発表者（〇印）は、建築デザイン発表会に出席し、一名 1 題、または学術講演会 1 題と併せて 2 題の講演発表を行うことができる。
- b. 講演発表者は必ず大会に参加し講演発表をしなければならない。共同発表者による代理の講演発表は認めない。
- c. ただし、建築デザイン発表会、学術講演会の両方に投稿しかつ相互の発表時間帯が重なった場合（半日単位）は、学術講演会の講演発表を行うこととし、当該の建築デザイン発表に限って代理の講演発表を認める。学術講演については代理の講演発表は認めない。
- d. c 項の場合、代理の講演発表は、正会員（個人）、準会員または名誉会員であり、当該建築デザイン発表の共同発表者に限って認める。該当する者がいない場合には、代理の講演発表を認めない。
- e. 代理の講演発表は、一名 1 題を限度とする。
- f. c 項の「発表時間帯が重なった場合」とは、半日単位で発表時間が重なった場合を指す。
- g. 共同発表者（連名者）は、名を連ねる梗概の題数に制限はないが、講演発表を行うことはできない。
- h. 講演発表者の出席・欠席および c 項による代理の講演発表は学術推進委員会に報告され、記録として保存される。また、欠席および c 項による代理の講演発表の講演番号は本会ホームページにおいて公表される。

### 4. 応募方法 大会ホームページからの応募（電子投稿）に限る。大会ホームページ上での建築デザイン発表申込みおよび建築デザイン発表梗概原稿の送信をもって応募とする。なお、締切後の原稿の訂正は一切認めない。

### 5. 応募部門 応募部門は、テーマを定めない一般部門と、テーマおよび招待講師者をあらかじめ公表するテーマ部門のいずれかとし、建築デザイン発表申込画面の所定欄に応募部門を明記する。

### 5.1 一般部門

一般部門は、テーマの制約を設けない部門で、プログラム編成会議で発表セッション分けを行う。また、各セッションには、原則として運営委員が参加する。

### 5.2 テーマ部門

テーマ部門のテーマおよび招待講師者は年度ごとに定める。2019 年度のテーマ・招待講師者は、次ページの「テーマ部門のテーマ・招待講師者」による。テーマ部門は 1 テーマあたり最大 20 題程度とし、招待講師者がプログラム編成時に選ぶ。テーマ部門に選ばれなかったものは、一般部門で発表する。

### 6. 発表方法 発表の方法はポスター展示を伴う講演発表とする。発表方法等の詳細については、学術推進委員会が公表する。講演発表に際しては会場に備え付けられた機器（PC 用プロジェクター）以外の使用はできない。

### 7. 応募期間

期限：2019 年 2 月 15 日（金）から **4 月 5 日（金）17 時**（厳守）（**学術講演の締切日と異なるので注意してください**）

提出先：<http://www.ajj.or.jp/d-taikai2019/>

### 8. 建築デザイン発表梗概の採否 建築デザイン発表梗概の採否は、学術推進委員会が決定する。下記条項等に照らし建築デザイン発表梗概として不適当と認められるものは採択しない。不採択となった場合は 5 月 20 日までに本人に通知する。

- a. 梗概に記された内容が著しく不十分なもの。
- b. 内容が商業宣伝に偏したもの。
- c. 応募規程、執筆要領に反するもの。

### 9. 発表登録費 発表登録費は表-1 による。ただし、留学生の会員の発表登録費は発表申込み時に申請があれば減額する。

表-1 発表登録費

	論文予約会員、 名誉会員	正会員・ 準会員	留学生	会員外
1) 学術講演会 で発表する者 <sup>*)</sup>	0 円	9,000 円	2,000 円	— (発表不可)
2) 建築デザイン 発表会で 発表する者 <sup>*)</sup>	0 円	9,000 円	2,000 円	— (発表不可)
3) 学術講演会/ 建築デザイン 発表会の 両方で発表する者 <sup>*)</sup>	0 円	13,500 円	3,000 円	— (発表不可)
4) 共同発表者（口頭発表 を行わない連名者）	0 円	題数によらず 9,000 円	題数によらず 2,000 円	題数によらず 13,000 円

\*1 発表は、学術講演会、建築デザイン発表会で各 1 題まで発表可能です（「3. 発表者の権利・義務」を参照）。

- a. 講演発表者ならびに共同発表者は、発表登録費（表-1 参照）を請求書に記載の期限までに納入すること。ただし、論文予約会員、名誉会員は、発表登録費を免除する。
- b. 共同発表の発表登録費は、題数によらず 1 題分とする。
- c. 講演発表者（〇印）は発表者を代表して共同発表者の発表登録費の納入の義務を果たすものとし、全員の発表登録費の納入がない場合は、当該建築デザインの発表ができない。
- d. 発表登録費未納者は、2020 年度以降の学術講演会および建築デザイン発表会に応募できない。

10. **大会参加費** 大会に参加する者は前記「9. 発表登録費」とは別々に大会参加費を納入するものとする。  
大会参加費および事前納入手続きについては本会ホームページおよび「建築雑誌」4月号に掲載する。
11. **梗概集** 採択された建築デザイン発表梗概はDVD版大会梗概集(学術講演梗概と建築デザイン発表梗概を収録)に収録し、頒布する。なお、発表登録費納入者にはDVD版大会梗概集を無償で送付する。
12. **著作権**
- 建築デザイン発表梗概の著作権は応募者に帰属するものとし、本会には編集出版権をもつ。
  - 梗概の複写権、翻訳権は本会に委託するものとする。
  - 著作権の侵害等の問題は応募者がすべての責任を負う。建築デザイン発表梗概集は電子形態によって公開されることを前提に、写真等については他者の著作権を侵害しないように十分注意する。
13. **電子形態による公開** 建築デザイン発表梗概集は、本会および本会が許諾したウェブサイトから全ページが公開される。
14. **講評等**
- テーマ部門では招待講評者が2題程度の建築デザインを顕彰する。
  - 大会終了後に招待講評者の講評を「本会ホームページ」に掲載する。

### テーマ部門のテーマ・招待講評者

2019年度のテーマ部門のテーマ・招待講評者は、下記のとおりである。

- 心地よい公共の居場所：**  
**藤江和子(藤江和子アトリエ代表)**  
個人的な生活の時間、社会と関わる活動の時間、連綿と途切れることのない空間と時間を通して、人々が生き生きとした生活の実感が得られる居場所としての開かれた公共空間のありようを大切にされなければならぬと思います。
- 素材を見極める：**  
**竹原義二(無有建築工房代表)**  
建築に対して性能のみを追求することで、経年の美という古びる良さが置き去りにされているように感じます。時間の中で生き続けていく建築とは何か。建築をかたちづくる素材をテーマに、建築と今一度向かい合うための議論をしたいと思います。
- セルフビルドのデザイン：**  
**渡辺真理(法政大学教授)**  
「セルフビルド」とは設計者自らが施工する行為全般を意味します。設計者は必ずしも施工の専門家ではないし、施工には地域のボランティアが参加する場合もあります。設計者が学生の場合もありますし、グループでデザインし施工する場合も多々あります。セルフビルドでなければできないデザイン(には「作り方」も考える必要があります)を考えてみましょう。
- 人を中心とした環境・空間デザイン：**  
**近本智行(立命館大学教授)**  
建築や空間そのものの価値から、その中で過ごす人の行動を誘発し、意識を高めるデザイン、そして健康増進や生産性向上につながる環境づくりに視点が変わりつつあります。そんな時代の新たな価値創造につながる提案を希望します。
- 木を使った建築：**  
**腰原幹雄(東京大学生産技術研究所教授)**

1000年以上培ってきた日本の伝統木造技術、でも木の使い方はそれだけではないはずです。現代の生活スタイル、生産システムの中で、従来の「木造」建築だけでなくさまざまな木を使った建築の提案を求めます。

### f. ここから始まる歴史性・地域性：

**倉方俊輔(大阪市立大学准教授)**

現在、歴史性や地域性としてみなされているものも意外に、個人的、短期的、新規的な成立だったりします。過去に寄りかかるとだけでなく、今に安住するでもなく、継承されるべき歴史性や地域性をつくる建築デザインを求めます。

### 発表会実施要領

#### 1. 発表の方法

講演発表者は、会場の定められたパネルに時間割に沿ってポスターを掲示し、定められた場所でPC用プロジェクターを使って講演発表および質疑応答を行う。会場・時間割は学術推進委員会プログラム編成会議が決定する。

#### 2. 講演発表時間

1題あたり8分(発表4分、質疑応答4分とする)

#### 3. ポスター

ポスターはA2判2枚(縦使い、左右並列)とし、原則として発表梗概を拡大したものとする。モノクロ、カラーは問わない。

#### 4. ポスターの掲示

ポスターは画紙でパネルに貼れるように作成し、発表者が当日会場に持参し、各自で掲示・取り外しを行う。

### 原稿執筆要領

#### 1. 用紙設定

白地のA4判2ページとする。ワープロソフト等で上マージン15mm、下マージン15mm、左右マージン15mm、として設定する。なお、この基準から大きく逸脱した原稿は、執筆要領に反するものとして不採択となる場合がある。

#### 2. 記載方法

下記の項目をレイアウト見本に準拠して記載する。レイアウト見本はホームページ上で提供する。

##### a. 1ページ目上段

- ・和文・英文で、表題、会員種別・発表者名・所属を記載する。
- ・会員種別・発表者名(連名の場合は講演発表者を筆頭に記し、氏名の前に○印をつける)は上段に記載する。
- ・連名者で、設計統括責任者・指導教員等を明示する必要がある場合は、その者の氏名の前に※印をつけることができる。※印を付した場合は、その役割を註記する。

##### b. 2ページ目上段

- ・和文・英文で所在地(計画案の場合は適宜、とくに住宅等では建築主のプライバシーを考慮して表記する)、主な用途、敷地面積、建築面積、延床面積、キーワード、特記事項・データ等を記載する。

#### 3. 設計趣旨・説明文・図表および写真

設計趣旨(600字以上)・説明文・図表・写真等は適当と思われる場所にレイアウトする。設計趣旨・説明文の文字の大きさは8ポイントを原則とする。図表および写真は原稿に貼り付けた状態でPDF化し、別ファイルにはしない。発表者以外が撮影した写真等を使用する場合は、著作権に十分注意する。

#### 4. キーワード

発表申込画面に入力したものと同一キーワード3~6個を必ず記述する。

用語は日本建築学会「学術用語集—建築学編」から選ぶことを基本とするが、適当な用語がない場合はこの限りではない。

#### 5. ファイルサイズ（容量）の制限

ファイルサイズは**3 MB**以内とする。3 MBを超えたファイルは受信しない。提出するファイルは一つとし、圧縮ツールによる圧縮やセキュリティは設定しない。

### 電子投稿用原稿作成上の注意

#### 1. ファイル形式

電子原稿はAdobe Readerで表示および印刷可能なPDF (Portable Document Format) ファイルで提出してください。

#### 2. ファイルサイズ（容量）の制限

ファイルサイズは**3MB**以内とします。3MBを超えると受信いたしません。またファイルは一つとし、圧縮ツールによる圧縮やセキュリティ設定はしないでください。

#### 3. ファイル名について

必ず拡張子（.pdf）がついているファイルをお送りください。

#### 4. 提出方法

提出方法は大会ホームページからの応募（電子投稿）に限ります。

#### 5. 作成するアプリケーションとOS

原稿を作成するアプリケーションの制限はありません。OSはWindows 7以上またはMac OS10.12以上を推奨します。

#### 6. PDF ファイルの作成方法

PDF ファイルは、原則としてAcrobat DC以降（または同等品）を用いて作成します。作成方法についてはソフトに付属のマニュアルまたはホームページ上の執筆要項をご覧ください。

Acrobatの詳細については<http://www.adobe.com/jp/>をご覧ください。

#### 7. 使用できるフォントの制限

投稿されたPDFファイルはWindowsまたはMac上で稼働するDVDに搭載されますので、原稿内に使用するフォントは以下に限定してください。

OS	Windows	Mac (OS10.12以上)
日本語フォント	MS明朝またはMSゴシック	MS明朝、MSゴシック、ヒラギノ
英字フォント	Arial, Century, Helvetica, Symbol, Times, Times New Roman	

※ どうしても他のフォントを利用したい場合は、PDF作成時にフォントの埋込みを行ってください。

#### 8. 色使い

本文の文字は黒色としますが、図・表・写真等については色使いの制限は特にありません。

#### 9. 写真や画像などの解像度

写真や画像を含む場合、PDF化することにより、出力品質が劣化することがあります。ファイルサイズ制限内で、PDF化する際のジョブオプションの値を高くして作成してください。

#### 10. 印刷の確認

作成したPDFファイルは一度プリンターで印刷し、執筆者の意図どおり印刷されることを確認してください。

#### 11. その他

応募上の注意、発表申込み記入要領、電子投稿要領は、学術講演会と共通です。

### 会員番号・大会用会員外登録番号の取得

2019年度大会で建築デザイン発表するために新たに入会される方は、**応募時までに必ず入会手続きおよび入会金・会費の支払い手続きを済ませてください。**応募するためには発表者（会員外も含む）全員の会員番号または大会用会員外登録番号が必要ですので、次の方法により取得してください。

い。

**会員番号の取得：** 本会ホームページで入会手続きを行ってください（<http://www.aij.or.jp/>）。

**入会予定者は入会金・会費の支払い手続きをされないと、入会手続きが完了しません。**

①インターネット経由で入会手続きを行う場合は、入会金・会費の支払い方法として「**口座振替**」を希望すると**Web上で会員番号を即時に取得できますが、「請求書払い」を希望すると入金後に会員番号が発行されますので、取得に10日間前後の時間がかかります。**十分にご留意ください。なお、正式な入会は理事会承認後になります。

②郵送またはFAXで入会手続きを行う場合は、入会申込書が事務局に到着後、**会員番号の取得に10日間前後の時間がかかりますので、できるだけインターネット経由で「口座振替」をご利用ください。**

**大会用会員外登録番号の取得：** 本会ホームページ（<http://www.aij.or.jp/jpn/taikai2019/>）で取得してください。

#### ●2018年度建築デザイン発表会〔テーマ部門〕顕彰者

【ハイブリッドな構造による可能性】招待講師：金箱温春

- ・14078/14079 吉原正（三菱地所設計）・中村悠・永田康明・菅波哲也・森本順子・斎藤公男／中村悠（三菱地所設計）・吉原正・尾原祐介・皿海康行・安富彩子・田畑英樹・平林竜次・田川英樹・久保山武・斎藤公男
- ・14083 岡田美咲（武庫川女子大）・松下聡・田川浩之・杉浦徳利
- ・14091 吉岡紘介（日本設計）・村井一・矢崎裕信・間室健一・坂口裕美

【自由な建築】招待講師：工藤和美／代理：浅石 優

- ・14183 谷口和広（九州大）・遠藤由貴・奥村光城・鹿嶋渉・華田健人・東大貴・末廣香織
- ・14193 國分昭子（IKDS）

【関係性のデザイン】招待講師：千葉 学

- ・14098 戸倉一（滋賀県立大）・鈴木一徳・古田望・神戸涼・木下潤一・野田慎治・白井宏昌
- ・14102 中村晋作（高知工科大）・佐藤圭一
- ・14105 菅原大輔（SUGAWARADAISUKE建築事務所）・鈴木芳典・柿沼整三

【ZEB／ZEHを目指したインテグレイティブデザイン】

招待講師：大岡龍三

- ・14036/14037 川崎祐華（武庫川女子大）・井ノ口果穂・帯辺菜穂・田中佐弥・堀内環美・田村早帆・前田真季・野崎奈緒美・佐々木みなみ・岡崎甚幸・杉浦修史・宇澤善一郎・森本順子・宇野朋子・猪股圭佑・山口彩／大原こころ（武庫川女子大）・池澤萌子・上原陽・江口知里・神本希美・永田瑞季・野村侑子・吉住春香・岡崎甚幸・杉浦修史・宇澤善一郎・森本順子・宇野朋子・猪股圭佑・山口彩
- ・14044 近藤亮彦（竹中工務店）・長谷川寛・桂川佳裕・細沢貴史・上河内浩・山中悠己
- ・14048 辰井悠記（大林組）・賀持剛一

【建築・のようなもの】招待講師：中谷礼仁

- ・14058 石原里美（広島大）・橋本雅好
- ・14072 坪沼一希（大成建設）・中藤泰昭・高岩遊

【新たな公共性】招待講師：赤松佳珠子

- ・14001 吉田沙耶香（ANomad Sub）・橋本雅好・坂東幸輔
- ・14018 田中智之（熊本大）

●2019年度大会建築デザイン発表会運営委員会  
委員長 陶器 浩一（滋賀県立大学）

幹事 杉浦 久子 (昭和女子大学)  
萩原 剛 (早稲田大学)  
古谷 誠章 (早稲田大学)  
堀越 英嗣 (芝浦工業大学)

委員 浅石 優 (元東京都市大学)  
伊香賀俊治 (慶應義塾大学)  
小泉 雅生 (首都大学東京)  
佐藤 光彦 (日本大学)  
下吹越武人 (法政大学)  
清家 剛 (東京大学)  
田辺 新一 (早稲田大学)  
羽鳥 達也 (日建設計)  
本杉 省三 (日本大学)